

## 令和元年度 高等学校助成(B 古い生徒顕微鏡の買換え補助)活動報告書

長野県佐久平総合技術高等学校  
実習教員 白鳥太智

### 1本校の顕微鏡の現状について

本校は、平成27年に北佐久農業高校、臼田高校、岩村田高校工業科が合併し「佐久平総合技術高等学校」として誕生した新校になります。

校舎は、旧北佐久農業高校と臼田高校の校舎を利用し、浅間キャンパス、臼田キャンパスと2つのキャンパスにて学んでいます。浅間キャンパスには農業科学年3クラス工業化2クラス、臼田キャンパスには創造実践科学年2クラスと学年7クラス規模の高校です。各キャンパスの距離は10Km離れており、それぞれのキャンパスで学ぶ高校です。

理科の授業は両キャンパスで行われるため、両キャンパスそれぞれに薬品庫があり機器があります。昨年までは臼田キャンパスの顕微鏡が非常に古く、台数も不足し、規格も様々という現状で顕微鏡観察等の授業を行ってきました。ただ、ステージの上げ下げが壊れていたり、光軸のズレ等がありピントを合わせる操作に時間がかかったり少しぼやけている状態での観察を余儀なくされていました。

早急な実験環境を整える必要があり、今年度財団の助成を申請したところ、幸いにも助成をうけることができました。購入した顕微鏡はケニス(NJL-600)を15台。既存の光源付きの同タイプの顕微鏡と併せてクラス規模での顕微鏡観察ができるようになりました。

### 2 顕微鏡の今年度の使用実績

【教育課程】 2学年 生物基礎 3学年 生物

#### 【顕微鏡実験一覧】

- ・顕微鏡の使い方
- ・ツクシの胞子の観察
- ・体細胞分裂の観察
- ・だ腺染色体の観察
- ・マイクロメーターの使い方

### 顕微鏡観察の様子



### 3終わりに

新しい顕微鏡を使って観察ができることで、生徒の学ぶ環境が整い、発見や観察に向かう姿勢が向上しました。まだ1人1台の台数は確保できていませんが、県の理科設備の予算を活用して台数の確保を図っていきたい。

生徒それぞれの探求心の育成や、学びたい気持ちを大切にして生徒一人一人と向き合っていきます。藤原ナチュラルヒストリー財団には、助成いただいたことに感謝申し上げます。